

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康推進・がん対策推進事業			事業番号	011-187
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	健康さかい2 1（第2次）					
3	事業開始年度	平成 20 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	健康増進法、堺市がん対策推進条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区（保健センター）				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民【がん検診の対象者は、20歳以上の女性（20.8万人）、40歳以上の男性（9万人）】	対象数	29.8万		
			単位	人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	がんについて疾患の理解とがん検診の必要性を理解し、自発的に予防行動が取れ、定期的に検診を受ける市民を増やす				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発：受診案内の送付、各区保健センターの保健師等が地域へ出向き、がんに対する健康教育を実施するなど啓発、NPO法人や患者団体と連携した啓発活動（地域に向いて健康教育やイベント時の啓発活動）を実施する。 ・がん検診の不定期受診者を対象に、受診勧奨のハガキを送付した後で、がん検診総合相談センターによる架電を行うコール・リコール事業を実施する。 				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	株式会社NTTマーケティングアクトほか				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度
11 受診率 ・目標値は職域受診含む（国の目標）	%	目標値	50	50	50	50
		実績値	14	14		
		達成率	28%	28%		
当該指標を選定した理由	がん検診受診率を増加させることで、市民の健康の保持増進を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法	受診者数 / 対象者数					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
12 コール・リコール実施件数	人		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		目標値	43,750	10,000	40,000	
		実績値	49,018	31,337		
		達成率	112%	313%		
当該指標を選定した理由	定期的な検診受診者を増加させるためには、はがき送付等によるコールリコールが効果的とされているため					
目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度はリコール（架電勧奨）件数を業者提案とする手法に見直したため目標値が減ったが、はがき、SMS勧奨などを実施した結果、令和2年度の目標値には届かないものの、大幅に目標値を上回る結果となった。令和4年度ははがきによる受診勧奨に加え、不定期受診者へのSMS受診勧奨人数を増加する予定のため、目標値の新たな見直しを図っている。					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	健康推進・がん対策推進事業	事業番号	011-187
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
項目		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費 (a)	67,461	59,901	57,006	44,198	24,586
	財源					
	国支出金	3,473	5,694	17,534	2,078	5,787
	府支出金					0
	市債					0
	その他（堺市民健康生きがいづくり基金）			500	500	0
14	人件費 (b)	3,920	4,280	4,280	4,280	4,280
15	年間経費(c)=(a)+(b)	71,381	64,181	61,286	48,478	28,866

事業費の内訳		（単位：千円）									
		年度		事業費	うち 一般財源	項目		年度		事業費	うち 一般財源
16	事業費内訳	項目	R3			決算	項目	R3	決算		
			附属機関委員報酬（枠外）	R4	予算	215		215	通信運搬費（枠）	R4	予算
		謝礼金（枠）	R3	決算	33	33	受診勧奨通知電算事後処理業務	R3	決算	6,213	3,820
			R4	予算	117	117		R4	予算	11,575	6,288
		普通旅費（枠）	R3	決算	3	3	がん検診総合相談センター委託料	R3	決算	29,370	29,185
			R4	予算	31	31		R4	予算	0	0
		消耗品費（枠）	R3	決算	232	232	委託料	R3	決算	5,913	5,913
			R4	予算	332	332		R4	予算	11,408	10,908
印刷製本費（枠）	R3	決算	354	354	その他（筆耕翻訳料、使用料及び賃借料ほか）	R3	決算	0	0		
	R4	予算	373	373		R4	予算	95	95		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和2年度	令和3年度
17	①	コール・リコール実施件数	人	49,018	53,320
	②	上記①にかかる年間経費	千円	12,801	12,853
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	261	241
備考（算出についての説明等）		見積書よりコール・リコール（はがき勧奨等）にかかる費用を算出			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>新型コロナウイルス感染症のまん延による市民の検診受診控えも影響し、R2にはがん検診受診者数が減少したが、無償化を延長したこともあり、R3は受診者数が若干回復した。しかし、令和元年の受診者数（128,236人）には戻っていない状況。勧奨はがきなどによる受診勧奨や、がん検診無償化などの啓発等により、事業の目的は達成している。</p>
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>がん検診の無償化、はがきなどによる受診勧奨や啓発等を実施し、市民が定期的ながん検診を受診することで、がんの早期発見、早期治療につなげることが可能となり、市民の健康寿命の延伸に寄与したと考える。</p> <p>今後はICT（SNS等）や企業連携を通じた啓発など多種多様な手法を活用し、市民への周知啓発活動を充実させ、がん検診受診率の向上に向けた取組を進めていく。また、啓発を通じた企業や庁内との連携を深めることにより、様々な面から市民の健康増進に向けた取組を実施していく。</p>